いわき市
三和町

阿武隈の里山

上三坂の里

見どころMAP

KAMIMISAKA

上三坂に来て、見てね

古き良き伝統を受け継ぎ、丁寧に生きる、そんな暮しが息づく上三坂。三阪の名前の由来は今から約5百年前の昔、好間庄の地頭だった岩城氏の家臣、三阪忠信の命令により領地の北西部の守りを固めるため、上三坂に館を築いたことに基づくものであります。

標高約500メートル山間高冷地で国道49号、349号線が整備されております。

上三坂地区は岩城街道の宿場町として栄え、郡山、須賀川、石川町、古殿町、小野町へと交通の要衝として重要な地域でありました。宿場町の真中には中堀が流れておりましたが、現在は道路改良により堀は埋立され昔しの面影を見ることができませんが、美しく豊かな恵みを与えてくれる自然、伝統文化や歴史が数多くあります。小さな地区でありますが、地域に住む人の温かい思い、他人を思いやる心で皆さんをお待ちしておりますので、是非、上三坂に来て、見てね。

上三坂地区、山間に囲まれた鳥瞰図

上三坂全図
至郡山
至小野町
古事又地区
本町地区
中町地区
山神前地区
上町地区
水田地区
綱木地区
芝山地区
上三坂名所MAP看板
GS
旧三阪街道
長沢峠
至平
至古殿町
49
349
358
20
1
2
3
4
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15

1 三阪城跡(三倉城)

三阪城(三倉城(さのくらじょう))は、いわきの北西を守る要の城として整備され、岩城氏の最終段階(16世紀段階)の城の特徴を残すものであります。岩城氏が勢力を拡大するにつれ、戦略的にもその重要性を増し、岩城領国の北西最先端である三阪城(三倉城)は当然その拠点的役割を担った重要な城として位置づけされていた。

2 旧上三坂宿場

上三坂宿は交通の要衝(ようしょう)で、南東は合戸を経て平城下へ、西は小平、蓬田へ、南は古殿、石川、白河へ、北東は中三坂、川前へ、北は小野新町、三春城下へと向かう基点でした。短冊形の地割りや水路の様子から、計画的に整備されたことがわかります。宿場町の中央を流れる水路は、旅人の手水や牛馬の飲み水、また防火用水として活用された。昭和40年代に道路の舗装工事が行われ、水路は道の北側に寄せられましたが、今でも町並みには、宿場町の名残が見られます。往時を偲ぶ屋号を持つ家が残っております。

また、海浜から続く三阪街道は塩の道ともいわれており、海と山の産物は市が開かれ取引が行われました。

▲三和町上三坂中町の通り。左から2軒目は三阪郵便局である。道路の中央に用水路が流れ、生活に便利であった。この地は耕地が狭く、水が冷たいため冷害に見舞われることが多かった。

3 耕山寺(曹洞宗)

徳川三代将軍家光公より拝領。以後十三代将軍家定公代まで二百八年間前後八回を通じ御朱院を拝領有格の古名刹である。

寺内敷地には、福寿草が開花時期になると一斉に吹き始める。

4 綿津海神社

綿津海神社は嵯峨天皇の時代の弘仁(こうにん)三年(812)に創建された。

今から約1200年前に建てられた古い神社。境内には巨木が林立し、いわき市の保存樹木「トチノキ」が青空に突き刺るかのように真っ直に伸びている古色蒼然として雰囲気が漂い、身の引き締まる思いがする。

5 やっちき踊り

上三坂「やっちき踊り」県指定無形文化財に指定されております。この踊りは、原始的な素晴らしい二拍子のリズムがあり、動作には脚を跳ね上げて踊る素朴な躍動的な踊りと賛嘆されております。

地域のお祭り、イベントなどで踊っております。

伝統・文化

自然

6 芝山自然公園

7 芝山市営牧場

8 芝山千本桜

標高819メートル「芝山天空の自然公園」いわき市の北西部にそびいる芝山(819メートル)は人々の憩いの場となっている。山麓の駐車場から猿子平まで遊歩道が整備されております。自動車でも山頂まで行くことができます。

「福島の遊歩道50選」「ふくしま緑の百景100選」シーズン中は多くの人達がキャンプ、バーベキューに訪ずれる。また市営牧場として馬、牛が放牧され牧歌的な雰囲気を楽しむことができる。さらに芝山千本桜も開花時期遅れの花を楽しむことができます。

9 「かたくり」の群生地

綿津海神社境内に春にはたくさんの可憐な花が咲き乱れます。是非鑑賞してみて下さい。

10 しだれ栗自生地

天然記念物「上三坂シダレグリ自生地」シダレグリは、自然の中で盆栽のように枝を垂れて育ち竜のような曲がりくねった姿で自生している。

約50本程度自生している貴重な自然遺産である。

11 エドヒガン100本桜

上三坂地区の集落の中心を流れる三阪川沿いに約100本のエドヒガン桜が5月上旬頃みごとに咲きほこる。是非100本桜を見にきてください。

12 あじさいロード

地域が生き生きと動く、アジサイの里づくりに住民ボランティアで取り組み、河川堤防、農道等に広範囲に約2,000本のアジサイが咲きほこっている。

見頃は6月下旬最盛期である。

阿武隈の里山

上三坂の里 見どころMAP

食事

13 農家レストラン ぷろばんす亭

山懐に包まれた農家レストランは、地産地消をモットーにスローフード料理を提供しております。
連絡先:090-1069-6860
(営業期間は、4月下旬～11月下旬まで)
(営業日:土・日・月曜のみ)

14 きのことマサ (お食事処)

自然に囲まれた、そば、うどんの料理店。地元の食材にこだわっております。
連絡先:0246-85-2755
(月曜日定休)

交流

里山・都市住民が協働してまちづくりを推進するために、古民家を再生して、地域振興の拠点とする。

地域医療100年の記憶遺産である古民家再生

15 OJONCO館

地域医療100年の記憶遺産である古民家再生「OJONCO館」を整備。都市と農村の交流、イベントの開催などの地域振興の拠点としての土蔵造り古民家。
(幕末から三代続いた診療所)

上三坂地区の民話

上三坂地区は標高約500メートルの阿武隈高地のやまあい(山間)にある地域である。地区の昔ばなしは先祖の人々から今日に至るまで語り継がれており、現地においでいただき、その昔ばなしに思いをはせてください。

1.主な上三坂の昔ばなし

- 三倉山の大蛇
- 石とその伝説
- 屁っぴり坂
- 琵琶石

などがあります。

上三坂に古くから伝わる伝統行事

月　日	行　　事
2/ 8	天神さま(中町旧上三坂小裏山)針供養
2/10	山の神講(地区によって開催月日違う)
2/24	愛宕さま(中町旧上三坂小脇)
3/ 1	観音講(水田芝山、上町耕山寺)
3/23	地蔵さま(網木)
4/ 8	薬師さま(本町三倉山)
4/14	蚕神さま(網木)
4/29	荒神さま(古事又)
7/17	天王さま(古事又)
8/19	十九夜(耕山寺)
8/25	阿迦ばねの地蔵さま(上町)
9/ 8	綿津海神社宵まつり
9/ 9	本まつり御塚神社(山神前御塚神社)
9/15	不動さま(本町)、権現さま(御塚神社)
11/4、14、24	大師講

ACCESS

いわき駅から……40分
郡山市から……50分
小野町から……20分
石川町から……30分
福島空港から……20分

問合せ先・連絡先

〒970-1374 福島県いわき市三和町上三坂山神前111　代表 TEL.0246-85-2647 FAX.0246-85-2647